

袋がそのままお手軽畑に早変わり！

新発売

「そのまんまトマト畑」（商標登録出願中）

「実のなる野菜畑」（商標登録出願中）

タキイ研究農場 藤井 隆



買った袋がそのまま容器（畑）になり、あとは苗を植えて水をやるだけで、簡単に野菜作りが楽しめます。

↓ 家庭のベランダや軒下で簡単に野菜が作れます。



↑ 作物の生育に合わせて肥料がバランスよく配合された培土が入っています。



実のなる野菜を家庭で作ろうとすると大型プランターの準備、培土の準備などのほかに、水管理、肥料のやり方、温度管理などいろいろ気を付けないと、最後まで満足のいく収穫ができないのが現状です。

このほどタキイ種苗が考案・開発した新商品の袋栽培用「そのまんまトマト畑」「実のなる野菜畑」は、袋底面部を円形に安定して置くことができ、初めての方でも苗を植えるだけで簡単に栽培できる肥料入りの培土が入った画期的な袋です。袋の口を切ってトマトやナス、キュウリなどを植えて水をやるだけで、すくすく育ち、大きな果実がたわわに実ります。皆さんの実のなる野菜を作りたいという夢を簡単に実現させてくれることでしょう。

特徴

- ① 肥料入りですので、苗を植えて水をやるだけで実がなります（苗は別途購入ください）。
- ② 袋の底が特殊加工してあり、大きな植木鉢として使用できます。
- ③ 軽くて持ち運びが楽な、栄養たっぷりの培土が入っています。
- ④ 水加減がひと目でわかるウォーターゲージと、両側に支柱を差し込むガイドが付いた親切設計です。
- ⑤ 水抜き用の穴あけが不要でベランダなどを汚しません。水が少しぐらい底にたまっても生育に支障はなく、水やりが省力できます。
- ⑥ 袋の裏側に栽培方法が書いてありますので、初めての方でも栽培しながら作り方がよく分かります。
- ⑦ 同じ袋で、春と秋の2回、野菜作りが楽しめます。

作り方

1 植える時期

霜が降りなくなつてから植え付けます。晩霜と低温に注意しましょう。

● トマト・ミニトマト・ナス・ピーマン・キュウリ・スイカ・その他の実のなる野菜（カボチャ・スイートコーンほか）

… 4月中旬～5月下旬ごろ

2 置く場所

実のなる野菜は太陽が大好きです。南向きで半日以上日が当たるベランダや軒下などに置きましょう。株も大きくなり、暖かくなってきたら、庭に置いてもいいでしょう。

3 おすすめの品種

袋栽培では、着果しやすく作りやすい、そしてとびきりおいしい実のなる品種を選びましょう。

キュウリは8～9月上旬植えて秋収穫も可能

袋を安定して立たせるために...



①② 袋を逆さま（ひものついていの方を上）にして両側のひもを両手で引っ張り、しっかりと袋を絞ってひもを結んでください。



③ 袋を引っくり返し（絞った部分が底になるように）、袋の上を持ったまま2～3度軽く地面（床）に落としてください。

④ 袋の上部片側にある切り取り線にそってハサミなどで口を切り開いてください。



⑤ 切った所を外側に2～3度折り返してください。

これで底がまるく安定した袋のできあがりです。

スタンディングバック構造（特許出願中）

置く場所



↑ ナスの生育途中。



半日以上日が当たる軒下などに置く

● トマト：「ホーム桃太郎」など
● ナス：「千両一両」「紫水」
「筑陽」など

● スイカ：「瑞祥」「こだま」など
● キュウリ：「夏すずみ」など

● ピーマン類：「京みどり」「カラピーマン」「ししとう」など

● ミニトマト：「ペペ」「千果」など

● そのほかスイートコーン、カボチャ、メロンなども作ることができます。

栽培方法

1 植え付け方法

「そのまんまトマト畑」「実のなる野菜畑」を所定の場所に置いてから、たっぷり水をやります。十分水がしみ込んでから苗を植え付けてください。また、植え付け時に肥料はやらないでください。栄養のバランスが崩れて実が着かなくなります。苗はガッチリした丈夫な苗を植えるようにしましょう。

植え付け後に袋の折りしろを伸ばすと保温効果があり、初期生育がよくなります。夜温が極端に下がる時は、袋の先端を洗濯バサミなどでつまんで閉じぎみにしておくと、より保温効果が上がります。(図1)

↓ガッチリした丈夫な苗を植え付け、折りしろは伸ばしぎみにします。(1番花開花ごろが植え付け適期)



↑ 苗を植え付ける前にたっぷり水をやって十分しみこませます。

図1 おりしろの使い分け



↓袋の両側にある支柱ガイドに支柱を差し込みます。



生育初期の水のやりすぎは根腐れの原因になりますので気を付けます。株が大きくなるにしたがつてたっぷり水を与えましょう。果実肥大期の乾燥は、果実の先端が腐るなどの障害が出るカルシウム(石灰)欠乏症の原因になるので注意してください。

2 水管理

植え付け後、苗が小さいうちは4〜5日に1回程度、1番花の開花ごろからは1日1回程度のペースで水を与えます。水のしみ込み方は袋のウオーターゲージを参考にしてください。袋の中の土が白っぽくなっていれば、水をやってください。

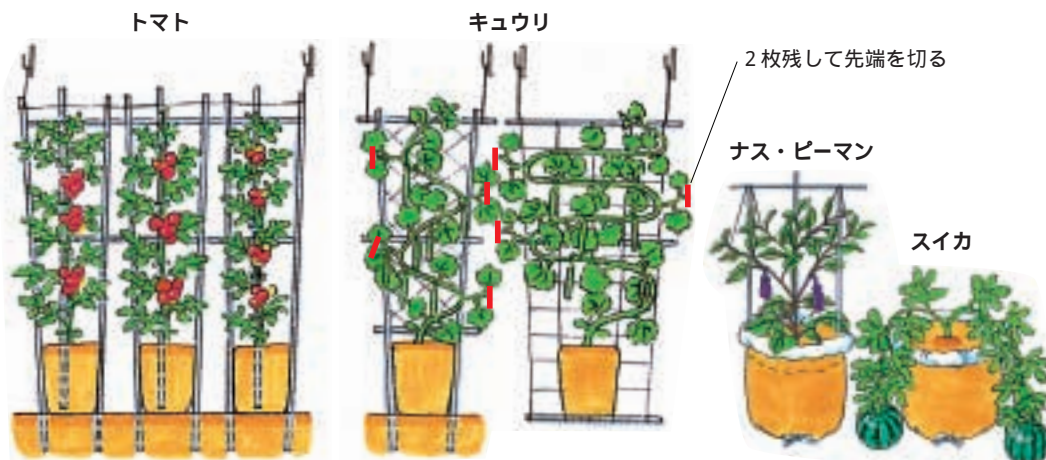
袋のサイドに小さな空気穴があけてあるので、余分な水分は少しずつ排水されますが、袋の底に水がたつぷりたまるようであれば、えんぴつなどで2〜3カ所穴をあけてください。大雨の時は袋の口のビニールを上げ、洗濯バサミなどで閉じておくと雨が入りません。袋の中の土は根腐れしにくい培土が入っていますので、灌水で底に多少水がたまっていても心配なく、水やりの省力になります。

3 支柱立て・誘引方法

●トマト 株が大きくなると倒れてきますので、両側の支柱ガイドを利用して、支柱を立てて誘引します。支柱は直径13mm、長さ180cm程度が丁度よく、3〜4段のトマトの結実には十分な高さです。誘引は3本の支柱を連結してしっかりとくりつけ、まん中の支柱にトマトの茎を誘引してください。果実が大きくなると袋ごと倒れやすくなりますので、支柱の先端をひもなどでくり、周辺の

固定物に結び付けてください。置く場所が土の上であれば、サイドの支柱を地面に突き刺してしまえば倒れません。

●ナス、キュウリほか 左図を参考にしてください。



4 整枝の方法

● トマト・ミニトマト

トマトが大きくなると、葉の付け根からわき芽が出てきます。わき芽は小さいうちに全部取り除きます。主枝はいくらでも伸びますが、袋栽培では3段目の花房の上に付いている葉を3枚残して上を切り取るとよいでしょう。4段、5段と伸ばしたい場合は、2段目の果実がピンポン玉のころより随時追肥（タキイの「ダルマ菌入り有機配合肥料こえ太くん」など）を与えれば、上の段まで簡単に着果し収穫できます。

● ナス・ピーマン

側枝を3〜4本仕立てとし、それ以外は全部切ってください。孫枝はそのまま伸ばします。果実が重くなると枝が折れやすくなるので、ひもなどで枝を吊り上げてやりまします。枝が伸びすぎてきたら切り戻しを行うと、新しい枝に実がなりだします。

● キュウリ

最近の品種は主枝の各節に着果する節成り性ですが、側枝が

夏場の栽培は、高温により根の生育が衰えます。袋の前（南側）に白い布をぶら下げて日よけをしてやると、生育がよくなります。



タキイのおすすめ肥料「ダルマ菌入り有機配合肥料こえ太くん」



肥料のやり方

出たら葉を2枚残して切り取ると、側枝にも着果します。つるの先端を支柱に上手に誘導してやりましよう。● スイカ 本葉が7〜8枚の時に主枝を摘み、しばらくして側枝が出てきたら2本残してすべて切り取ります。その側枝に着いた雌花に着果させますが、あまりたくさん着果させると実が大きくなりないので、1〜2個に限定してください。

生育初期の肥料はタツプリ入っていますので、植え付け時に肥料を入れなくてください。初期に肥料を入れすぎると樹ばかり大きくなりすぎ、着果しにくくなります。トマト畑では3段目収穫までの肥料が入っていますので、それ以上は7〜10日おきに追肥（前述

病害虫防除

の「こえ太くん」を大きじ1杯ほど与えれば、収穫期間はずいぶん長くなります。実のなる野菜畑では、中段程度の収穫ごろより、随時追肥を行ってください。

実のなる野菜は定植から収穫まで栽培期間が非常に長いので、いろいろな病害虫が発生することがあります。普段からよく観察し、見つけ次第早めの防除をしてやりましよう。風通しのよい、日によく当たる場所では、病害虫の発生はある程度おさえられます。

そのまんまトマト畑・実のなる野菜畑がもう一度使える方法

「そのまんまトマト畑」「実のなる野菜畑」は、収穫が終わってから水をやらないようにして株ごと乾かし、株がしおれてから引き抜きます。次に土壌消毒を行います。これはトマト畑・野菜畑の袋の口をしつかりしめて夏の高温に10日間ほどさらします。秋になつてから「ダルマ菌入り有機配合肥料こえ太くん」を土に一握り混ぜてやり、随時追肥をしていくと秋野菜がもう一度楽しめます。

1作で捨ててしまわずに2作目に挑戦してみましよう。ダイコン、ネギなどの秋野菜がびっくりするほどよくできます。

秋野菜(2作目)のおすすめ品種と、播種および定植日の目安

- ニンジン：「向陽二号」「夏蒔鮮紅五寸」... 7月下旬～8月下旬播種
- ダイコン：「耐病総太り」「YRてんぐ」... 9月上旬～9月下旬播種
- カブ：「耐病ひかり」... 9月上旬～9月下旬播種
- ネギ：「小春」... 8月下旬～9月下旬定植
- 甘藍類：キャベツ「彩ひかり」、ブロッコリ「グリーンフェイス」ほか... 9月上旬～9月中旬定植
- 漬菜類：みづな「京千本」、みずな「白茎千筋京水菜」ほか... 9月上旬～9月下旬定植

2作目の場合は適宜追肥が必要です。

2作目はダイコン「耐病総太り」に挑戦。深さがあるので立派な大根が作れます。ただし追肥は必要。



1 2作目の秋野菜もびっくりするほどうまく作れます。「小春」ネギもこんなに。